

2017春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 30

2017年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

JR九州労組 第3回団体交渉

ベアに拘る考え方を強く主張！

「賃金引上げ」「夏季手当」「諸制度」の改善めざす

JR九州労組は、3月3日、第3回団体交渉を行い、「2017年度新賃金等の要求について」「2017年度夏季手当の要求について」の申し入れに関して会社側と議論を交わした。

組合側は、前回交渉に続きパートナー社員の待遇改善を求めたが、会社側は従来の主張を繰り返した。

賃金引上げについては、ベアに拘る考えを改めて主張し、組合員の懸命な努力と成果に対し、賃金の形で正しく評価すべきと訴えた。

これに対し会社側は、第3四半期決算での通期見通しでは、営業収益、営業利益等是对前年増収増益の見込んでいるが、原価償却費の減少による会計処理であるため、依然厳しい状況に変わりなく、年収ベースの賃金引上げを考えるべきとの考えを示し、ベア実施に慎重な態度に終始した。

なお、仕事給昇給（仕事給昇給額表に掲げる額）について、実施の方向で検討する考えを会社は示した。